

風土に根ざした人に優しい病院

福島県立宮下病院は、三島町に位置し、柳津町、三島町、金山町、昭和村の4町村を医療圏としています。これら医療圏の医療、保健、福祉、の施設を有機的に結び、地域の人々にとって、いつでも安心して医療サービスの受けられる、風土に根ざした安全な病院をつくりたい。

きびしい風雪に耐えるサスティナブル建築

(2) 奥会津地域の特性と調和し、特別豪雪地帯を考慮した施設の提案

冬期間の北西からの風雪を考慮する。

■北側の国道に沿った建物配置

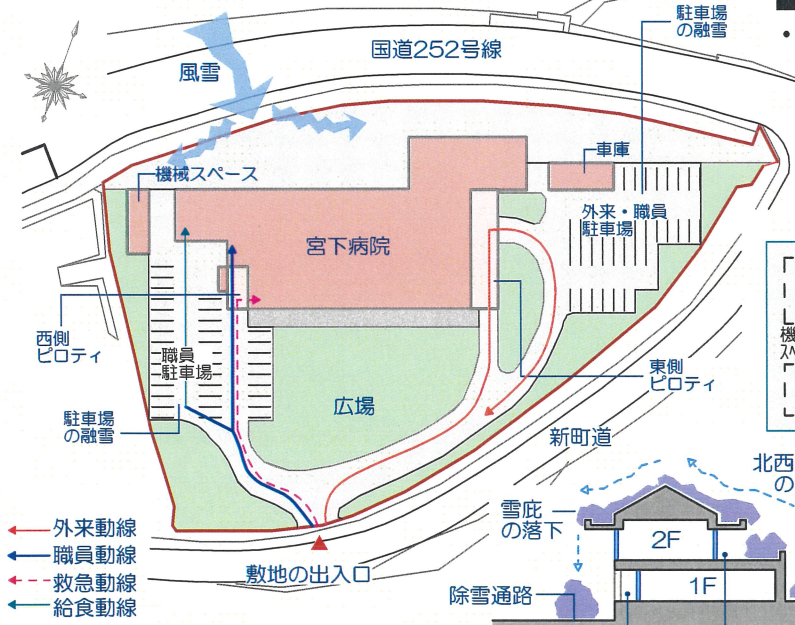
- ・建物は国道に沿って配置し、北西からの強い風と雪の影響を和らげる配置とし、南側に広い空間を取ります。
- ・2階の病室は良好な環境をつくるため、日の光が入る南向きの配置とします。

■風、雪に配慮した出入口

- ・外来者等の出入口は敷地の出入口から東側ピロティに、職員・救急出入口、感染症出入口は西側ピロティにもうけ、風雪に配慮した配置とします。

■落雪、雪だまりに配慮する

- ・建物の屋根は、1階は滞雪型屋根、2階は切妻屋根とします。風雪による雪だまり、落雪の位置を想定し、人・車の安全に配慮します。



(3) 災害や感染症に強い施設の提案

豪雨、豪雪、地震を想定した設計

■患者、職員の安全に配慮した配置、平面構成

- ・配置、平面計画の段階で、雨の処理、降雪による除雪、地震など、自然災害を想定し建物を設計します。
- ・患者、職員の安全を確保でき、安心して通常の医療ができるよう強い建物をつくりたい。

感染管理ができる平面構成

■感染症専用の出入口をもうける。

- ・西側のピロティから直接感染症外来に入るようにします。風除室、患者待合、患者トイレ、職員の感染症対応の室、診察室など、職員の出入りの動線を明確にし、室内を陰圧にするなど、感染に配慮します。
- ・院内感染防止に配慮した平面構成とし、感染拡大時にも通常の医療ができる平面構成とします。

高齢者に配慮した施設

基本計画によると最近の外来患者、入院患者の年齢層は高齢者が多くなっています。一般者を含め、高齢者が安心して訪れることができる施設をつくりたい。

(1) 地域の人々の安全・安心を支える施設の提案

■ピロティに出入口をもうける

- ・外来者出入口、職員・夜間出入口、在宅医療部門の出入口をピロティ内にもうけ、冬期間の風雪にも安心して利用できる出入口とします。

■わかりやすい平面構成

- ・外来者とスタッフの動線を明確にし、外来者にわかりやすく、機能面にてスムーズに医療が行うことができ、スタッフも働きやすく、人々に安心感をあたえる構成とします。

■あたたかみを感じる内部空間

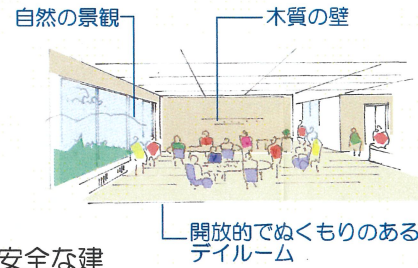
- ・外来部門、病棟部門は、内装材に木を使用し、ぬくもりの空間をつくり、人々が安心して療養生活ができる施設をつくりたい。

■ユニバーサルデザインの空間

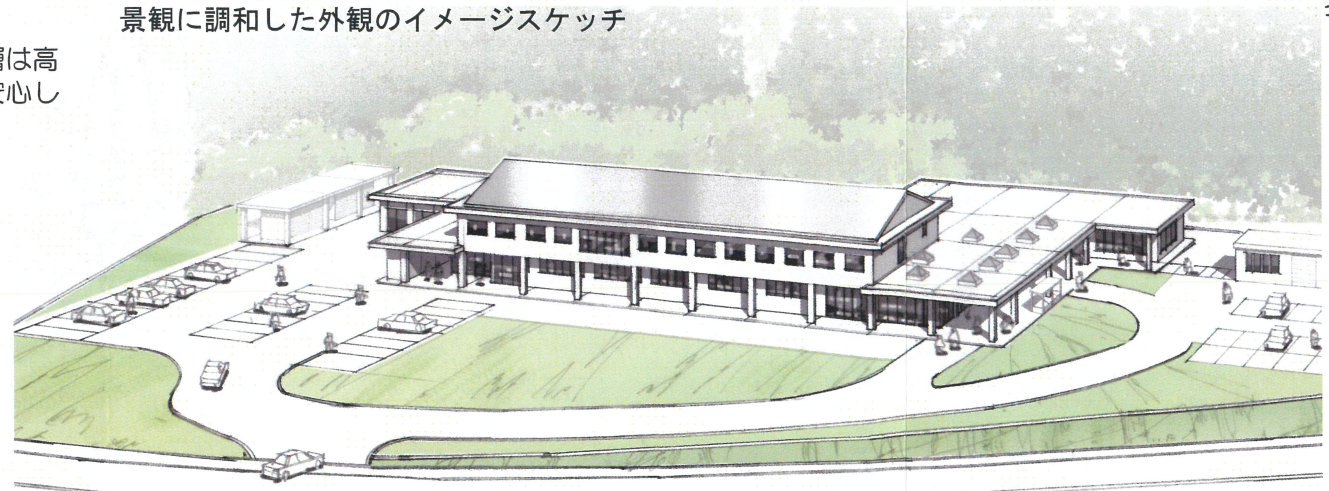
- ・外来者、スタッフに使いやすく、わかりやすいデザインとします。特に、カウンターの高さなど高齢者、車いすの人々に細部にわたって配慮したディテールとします。

■地域の人々の拠所

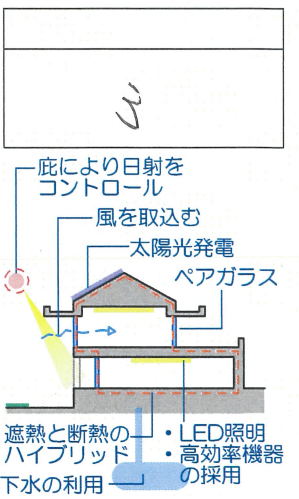
- ・まわりの自然環境、災害にも強い、安全な建物をつくり、在宅医療、救急医療にも対応する病院として、地域の人々の拠所となる施設をつくりたい。



景観に調和した外観のイメージスケッチ



技術提案書(様式5)



シンプルなシステムによるサスティナブルな病院

(4) 県産材の積極的な活用やエネルギー性能が高く、持続可能性に優れた施設の提案

木のぬくもりを活かす

■木を内装材に使用

- ・県産材を積極的に活用し外来部内、病棟部内に内装材として使用し木の持つ特性を活かした心地よい空間をつくりたい。

自然エネルギーの活用と外熱負荷の低減

■健康的で居心地の良い病院

- ・自然の光・風・周りの緑の環境を活かし高断熱外壁による外熱負荷低減や庇による日射遮蔽など機械に頼り過ぎない建物を目指し消費エネルギーを抑制します。

ライフサイクルコスト(LCC)を抑える

■ランニングコスト維持管理コストを配慮した平面構成

- ・無駄のない平面構成、華美なデザインを廃し、イニシャルコストを抑え、光・風・雨の自然エネルギーの利用と機械設備の一体計画によりLCCを抑えた建物とします。
- ・空調、照明のゾーニングを細分化し、運転時間の省力化を図り、水の使用を抑える節水器具を採用するなどランニングコストを低減します。また、耐久性の高い内外装材を使用します。清掃、保守管理しやすく、節電管理にも配慮した維持管理コストを抑えた建物とします。

(5) 将来的な施設の変更に際する提案

■改修しやすい工法(改修コストを抑える)

- ・院内の平面構成の変更に際するため乾式行工法の間仕切壁、電気配管、水回りの配管など容易に改修ができるようにします。
- ・病床、バックヤードの変更に際し、間仕切壁の設置・撤去、設備の変更に際し、簡単に改修できるようにします。

冬期間の除雪を考慮した計画

(6) その他の提案

■除雪しやすい外構

- ・各入口まわり、駐車場は、除雪や融雪(ピロティ床の暖房、地下水)が効率的にできる配置とし、雪の影響を低減し、安全で安心して訪れることができるようにします。
- ・建物まわりは2階からの落雪などスムーズに除雪ができる除雪通路をもうけます。

わかりやすい、使いやすい平面構成

◆建物は鉄筋コンクリート造2階建て

■東側ピロティに外来者の出入口

- ・外来患者、職員・夜間出入口、在宅医療部門の出入口をまとめ、雨、風、雪の時も安心して訪れることができる出入口とします。

■動線を明確に

- ・外来者出入口から、受付、待合ホール、外来診察への患者利用エリアへの患者の動線と、西側職員入口から職員スタッフエリアへの職員の動線を明確にした構成とします。

■スタッフが働きやすい外来診察

- ・診察室はスタッフのバックヤードをもうけ、バックヤードは、受付会計、処置室へと連続し、また、処置室は救急患者の入口、感染症患者入口と隣接した配置とします。

光と風、周囲の風景を取り込んだ病床

■安心安全な療養環境

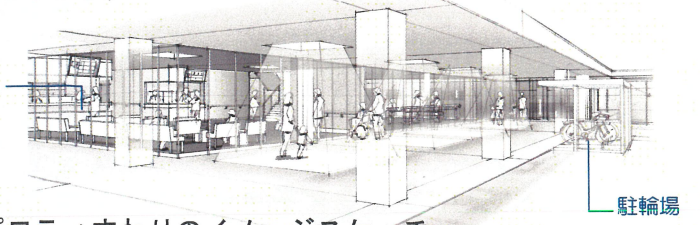
- ・光、風の入る温もりのある快適な居住空間の病室(1床、2床、4床)を南側に配置します。
- ・快適な温度、適切な照明、室内の色彩、騒音などに配慮した室内環境をつくりたい。
- ・ベッド間隔を1.0m以上の広さをとり、飛沫感染予防にも配慮します。

景観に調和した外観

■2階部分を切妻屋根

- ・豊かな周りの自然と調和する切妻屋根をもうけ、人々に親しまれる新しい景観をつくりたい。
- ・屋根の雪は庇で押え、雪庇が落雪するデザインとしています。

開放的な待合・カフェ



東側ピロティまわりのイメージスケッチ